

福祉だより

第73号

令和2年9月30日発行

社会福祉法人 泊村社会福祉協議会



泊小学校で出張福祉教育を行いました



7月30日(木) 泊小学校4年生を対象とした、出張福祉教育を行いました。授業「地域で支え合うこと」では、病気と障がいの違いや、地域の中でお互いに支え合うために、他者に配慮する「想像力」について説明をしました。授業の後には実際に車椅子を使い、介助する立場・介助される立場を体験するとともに、高齢者の疑似体験も行い、車椅子の特徴や注意点、高齢者の身体の変化と生活上での不便な点を学ぶ機会となりました。後日、児童全員から感想文が本会に届き、「車椅子を移動するときは上や下の物を取るのがすごく大変だった」「自分はこれから困っている人を助けてあげたい」「想像力を広げて高齢者の人や障がい者の人たちを支えていきたいです」など前向きなコメントがありました。

●社会福祉法人 泊村社会福祉協議会

〒045-0202 古宇郡泊村大字茅沼村500番地の2
TEL 0135-75-3761 FAX 0135-75-3763
メールアドレス tomari-syakyo@ak.wakwak.com
ホームページ <http://www.tomarimura-syakyou.or.jp>

●泊村社会福祉協議会 訪問介護事業所

TEL 0135-75-3010 FAX 0135-75-3763

●泊村在宅老人デイサービスセンター

TEL 0135-75-3363 FAX 0135-75-3763

「泊村ボランティアセンター」から

泊村社会福祉協議会が設置しているボランティアセンターは、住民と住民の支え合い・助け合いをつなげる「調整の役割」を担っています。また、ボランティア活動に関する相談や情報の収集・提供など様々な活動に取り組んでおりますので是非、ご利用ください。

相 談

ボランティア活動の相談
及び活動の需要調査



ボランティア保険

ボランティア活動の保険
手続き

調整・支援

ボランティア活動の調整
及び活動支援

登 録

ボランティアセンターへの
登録啓発・活動上の留
意事項の説明など

相 談

ボランティア活動全般の情報
収集・提供・研修の企画

ボランティア募集のお知らせ！

泊村ボランティアセンターでは、現在2団体、個人21名の方がボランティア登録をしております。活動は、サロン送迎・草刈り・話し相手・包丁研ぎ・愛のふれあい訪問活動事業への協力等、地域のためにボランティア活動を行っていただいております。

村民の皆様の中でボランティア活動に関心のある方、協力できる活動を行ってみたい方がおりましたら本会までご連絡ください。一人ひとりの協力が泊村の地域のためにつながります。また、村民の皆様からボランティアに「こんなことしてもらえたら助かる」等の要望がございましたら、本会までご連絡ください。



安心・安全ボランティア活動・事故やケガにそなえるために！ ボランティア活動保険

ボランティア活動中の様々な事故やケガ、賠償責任を幅広く補償します。

個人でも団体でも加入できます。ボランティア登録された方は、泊村社会福祉協議会が基本プランの保険料を負担し、申請手続きを行います。

【補償期間】 加入日から令和3年3月31日まで

【年間保険料】 ●基本プラン：350円 ●天災・地震補償プラン：500円



マスクポストの設置及び報告

新型コロナウイルスの感染防止のため、マスクを使用する機会が増えております。泊村社会福祉協議会では、皆さんから不要なマスクを提供いただき、必要な方に届ける「マスクポスト」を6/1から泊村総合福祉センター、泊村公民館等に設置致しました。

有線放送などで協力を依頼した結果「マスクポスト」には合計89枚のマスクが集まり、集まったマスクは、泊保育所・泊小学校・泊中学校にお届けしました。地域の皆さんの優しさで助け合いの輪が広がりました。ご協力ありがとうございました。





団体活動報告

泊村身体障がい者福祉協会

新型コロナウイルスの感染防止のため、今年度の活動に影響が出てしまい、恒例の研修会などの開催を自粛することに致しました。会員に何かできることはないか役員会で話し合い、役員が分担して会員宅への「友愛訪問」を7月16日に実施しました。安否確認と感染予防の声かけをし、サクランボを配布致しました。会員から「新型コロナウイルス感染症の関係で、顔を合わす機会がなかったので、会えて嬉しかった」と喜ばれる声が聞かれました。



令和2年度 後志身体障がい者福祉協会会長表彰

毎年開催されている、小樽・後志地区社会福祉大会(昨年は泊村で実施)が今年度は新型コロナウイルス感染防止のため中止となりましたが、松谷春江さんが表彰受賞に決定し、泊村身体障がい者福祉協会沼崎徹会長から表彰状の伝達贈呈を行いました。

泊村共同募金委員会から村民の皆様へ 赤い羽根共同募金の協力のお願い

10月～12月までの間、赤い羽根共同募金運動が始まります。泊村共同募金委員会が委託した共同募金委員さんが、新型コロナウイルスの感染防止に十分配慮し、ご家庭を訪問させていただき、募金活動を行いますので、皆様のご協力の程よろしくお願い致します。共同募金運動で集まった募金につきましては、各老人クラブ団体、身障協会、育成会への助成金として団体の活動を推進しております。その他では本会の広報紙のために募金を使用させていただいております。

共同募金は広域的な課題解決に向けた活動費等の助成を地域福祉普及のためにも有効に活用されておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。また、セイコーマート・宇留間商店・潮香荘・平安荘の各施設より温かいご協力いただき、募金箱を設置しておりますので、あわせてご協力よろしくお願い致します。

あなたは一人じゃない。



赤い羽根共同募金



赤い羽根共同募金の仕組み

募金種類

街頭募金
職域募金
戸別募金
法人募金
大口募金
学校募金
その他

泊村共同募金
委員会

北海道
共同募金会

泊村内の地域福祉を行う団体や事業に
助成(老人クラブ・身体障がい者福祉協会等)

北海道内の福祉施設や団体

災害等の準備金

愛のふれあい訪問活動 (ふれあい弁当)が始まります



今年度も泊村からの委託事業を受け、高齢者世帯の方々を対象に安否確認、生活状況の把握などを目的にお弁当配布を実施致します。

※10月以降に誕生日を迎えて対象年齢に到達された方は、申し訳ありませんが次年度からの配布対象となりますので、予めご了承お願いいたします。

〈対象となる方〉

- (1)70歳以上の独居高齢者
- (2)75歳以上の高齢者

※令和2年10月現在で泊村内に住んでいる方

〈配布期間〉

令和2年10月～令和3年3月まで月1回配布。配布日は有線放送でご案内いたします。

あわせて、愛のふれあい訪問活動に協力いただけるボランティアを募集致します。

ご協力いただける方がございましたら本会までご連絡ください。



除雪サービス事業が12月から始まります



除雪が困難な高齢者世帯に対して、地域で行う在宅支援活動の一環として、今年度も除雪サービス事業を実施致します。

※今年度から対象となる世帯収入の上限が適用となりますので下記をご参照ください。

〈対象となる方〉

- (1)高齢者または身体障がい者のため除雪作業が困難な方
- (2)前年の年金やその他の収入合計額が

一人世帯150万円以下、二人世帯190万円以下の世帯

〈サービス対象者〉

泊村内に住んでいる方

〈申請期間〉

令和2年10月19日～11月20日まで

〈実施期間〉

令和2年12月1日～令和3年3月31日まで

〈対象範囲〉

生活道路(道路に面した出入口部分から玄関先までの道路)の確保

※屋根の雪下ろし、窓の明かり取り等は対象外

今年度のふれあい広場開催中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、参加者・関係者の方々の健康・安全を第一に検討した結果、例年10月に開催しております「泊村福祉まつり・ふれあい広場」は今年度中止することと致しました。

毎年多くの方にご参加いただき、楽しみにしていた皆様には大変残念でございますが、どうぞご理解をいただきますようお願いいたします。



小樽・後志地区社会福祉協議会役員功労者

今年度中止となりました小樽・後志地区社会福祉大会にて、表彰状授与が決定されていた方々に対し、8月21日泊村社協榎垣馨会長から表彰状が授与されました。市町村社協役員として、本会 小林常次理事・高橋巖一理事・寺井義則理事・大橋芳之理事、また民生・児童委員として小林勇悦委員が今年度の表彰対象となりました。



ご寄付ありがとうございました

皆様からご寄付いただきました寄付物品につきましては、有効にかつ大切に活用・提供させていただきます。

- ・公益社団法人南後志法人会様 10,000 円
- ・遠藤幸子様 マスク 53 枚
- ・匿名 マスク 20 枚
- ・匿名 マスク 12 枚
- ・匿名 手作りマスク 100 枚
- ・匿名 肌着 10 枚・バスタオル 26 枚・毛布 1 枚